JRCA 主催者部会　活動方針

新たに発足する JRCA 主催者部会では、2011 年組織と活動方針、事業の原案を提案いたします。

１．活動、事業方針

・ラリーと救命救急などの社会貢献活動をコラボし、モータースポーツの啓蒙。
・全日本ラリー選手権主催者の負担軽減の為、連携を密にしスタッフ及び情報の共有化を図る。
・機材や備品および書類フォーム等の共同調達、共有化、及び相互貸借を進める。
・選手部会およびメディア部会と連携し、選手、スポンサー、観戦者に満足してもらえるラリーを目指す。

２．2011 年度活動内容（計画）

１）前年度評議会において決定を見ているもの
　・選手部会との情報交換会の開催
　・メディア部会との連携強化（メディアセーフティプラン作成、共同記者会見、選手情報の一括管理、大会情報の早期配信、リザルト配信等）
　・無線計測システムの共同レンタル

２）今後検討を重ねるべき課題
　・現場オフィシャル交流の活発化（登録オフィシャル名簿の作成）
　・運営経費コストダウン方法の情報共有化
　・重要機材の共有化（計時システム、オペレーションシステム、技術機材、レスキュー機材、タバード、クレデンシャル等）
　・観客サービスの向上（動画配信、ＭＣ、他のラリーの情報）

３）主催者部会よりＪＲＣＡ活動全体に対する提案
　・ＪＲＣＡとして主催者の負担軽減、エントラント増加策を立案、実施に協力。
　・シリーズスポンサー等の獲得を目指す。
　・ＪＡＦと協力し、日本全体のラリー参加人口の拡大、主催者への支援、訴求など、改善策を検討し実行。
　・自動車メーカー、アフターマーケットなどの業界との交流。

３．部会員（予定）

・部会長　　勝田照夫（MASC）
・事務局　　米谷展生（MASC）
・部会員（開催順）　七田定明（GRAVEL）、竹下俊博（MAC）、池田茂（R-10-N）、小田切順之（MSCC）、池田徹矢(MCSC)、竹道雄康(ARK)、田畑邦博(AG.MSC 北海道)（JRCA 副会長)、小口貴久(KAPS)、梅津祐実(OECU-AC)

４．会議開催日程

　・随時開催
　・当面はメール会議

５．予算

・計測機材共同レンタル補助（送料として）	２万円×８＝１６万円
・通信費	５万円
◎計	２１万円